

お知らせ

記者発表資料	令和6年10月9日
配布日時	14:00

宇野港で「小型船によるクルーズ旅客輸送に向けた実証事業」を実施 ～小型船によるクルーズ旅客の輸送手段分散化を目指して～

国土交通省港湾局では、クルーズ旅客の利便性や安全性の向上に向けたクルーズ旅客受入施設の適正な配置などを検討するため、「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」を開催しています。

検討の一環として、クルーズ船寄港地における、陸上の二次輸送(バス・タクシーなど)不足や海洋周辺の観光コンテンツ不足によるオーバーツーリズムの発生に対応するため、「二次交通としての小型船利用促進に向けた旅客動線のあり方」を検討する実証事業を行うこととしていただいております。

このたび、宇野港における小型船によるクルーズ旅客輸送に向けた実証事業として、宇野港(宇野地区)にある第一突堤大型客船バース及び棧橋周辺の現地確認を行うとともに、小型船を用いて宇野港から牛窓と小豆島を周遊するトライアル運航を行い、岡山県の観光地である牛窓や香川県の小豆島への海上からの旅客輸送の有用性を検証します。

○ 日 時 : 令和6年10月17日(木) 9:30~10:15(現地確認)、10:15~17:30(トライアル運航)

○ 場 所 : 宇野港第一突堤大型客船バース(岡山県玉野市築港1丁目)

○ 実証内容 : 【現地確認】

宇野港第1突堤大型客船バースから小型船が接岸する棧橋までの旅客動線並びに設備を確認し、利便性・安全性・効率性での課題を把握します。

【トライアル運航】

現状、牛窓方面への移動手段はバスなどの陸路が中心であり、小豆島への移動手段は定期フェリーのみとなっています。観光バスの不足や路線バスの混雑等、これから生じる課題に対して、小型船による海上二次輸送の有用性(景観・快適性・所要時間)を検証します。

○ 参加機関 : 中国地方整備局、四国地方整備局、岡山県、玉野市、瀬戸内市、小豆島町、一般財団法人みなと総合研究財団(順不同)

※予備日について

● 荒天等の影響で延期となった場合の予備日として、令和6年10月30日(水)を予定しております。

※取材について

● 当日は9:30までに別紙の①(第一突堤大型客船バース)へお越しください。

● 宇野港第一突堤大型客船バース周辺での現地確認(別紙の項目①~③/9:30~10:15)のみ取材可能です。

● ご希望される方は、10月15日(火)18:00までに電子メール(pa.cgr-cruise@mlit.go.jp)で事前登録いただきますようお願いいたします。メールタイトルを「宇野港実証事業取材申込」とし、メール本文に、①社名②氏名(ふりがな)③連絡先を記載ください。

<問い合わせ先> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3928(直通)(平日・昼間)

クルーズ振興・港湾物流企画室長 松浦 慎治 係長 松岡 晋晃

<広報担当窓口> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3905(直通)(平日・昼間)

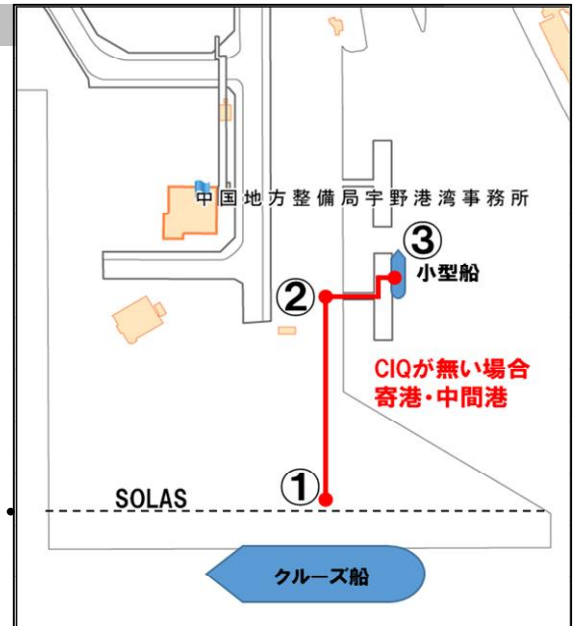
計画企画官 福田 俊

宇野港における小型船によるクルーズ旅客輸送に向けた実証事業の概要

■現地確認の概要

下記①～④を徒歩、車いす併用で実施。

	項目	備考
①	現地確認の概要説明 (旅客の下船場所として設定)	
②	小型船乗り場へ移動	車いす併用 チェックリスト使用
③	係船場所へ移動、 現地確認への質問、意見交換	同上
④	トライアル運航	車いすによる乗下船も実施



・地理院地図（電子国土Web）を加工して作成

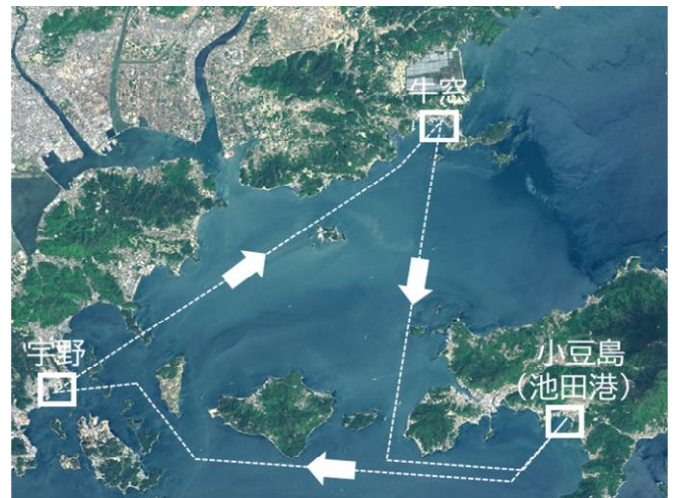
※クルーズ船から降りた旅客が、小型船が接岸する栈橋までの動線並びに設備の現況を確認し、効率性・利便性・安全性での課題を把握します。

■トライアル運航の概要

(1) 運航ルート

※宇野港～牛窓～小豆島～宇野港

※今後、宇野港に寄港するクルーズ船が大型化した際には、観光バスの不足や在来線が混雑するなどの懸念が考えられます。そこで、宇野港周辺に位置するクルーズ旅客の主要な訪問地を、宇野港からの海上二次交通（小型船）によって結んだ場合のトライアル運航を行い、小型船活用の有用性を検証します。



・地理院地図（電子国土Web）を加工して作成

(2) 使用船舶

項目	備考
船名	THE INLAND SEA SETOUCHI
全長	11.98m
総トン数	19トン
速力	最高22ノット 航海18ノット
乗船定員	66名
船内設備	冷暖房、トイレ、テレビ

※（株）岡山京橋クルーズHPより



※（株）岡山京橋クルーズHPより